

2019年度 愛知学泉大学シラバス

科目番号	科目名	担当者名	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
2201413	住文化論 History of Housing	西村 和哉	専門	2	必修	2年 前期

科目の概要

「住文化の変遷」を学習し、「小住宅の作図実習」、「住宅見学の現場実習」を通じ、「現代住宅の課題点」を理解します。また、「住文化の新たな展開」を学習することで、未来に向けた住文化のありかたを考察します。

学修内容	到達目標
① 戦後の日本を中心に住文化の概要を知り、説明出来るようになることを目的とする。	① 住文化の概要を理解し、説明することが出来る。
② 小住宅の作図実習を行い、簡単な設計図書の作図が出来るようになることを目的とします。	② 簡単な設計図書の作図を行うことが出来る。
③ 住宅見学の現場実習を通じて現代住宅の課題点が考えられるようになることを目的とする。	③ 現代住宅の課題を考え、説明することが出来る。
④ 社会問題を通じて住文化を考えられるようになることを目的とする。	④ 社会問題と住文化を関連づけて考え、説明することが出来る。
⑤ 未来の住文化について考えられるようになることを目的とする。	⑤ 住文化の未来について考察し、提案することが出来る。

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素

学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例

前に踏み出す力	主体性	ア. 技能を習得するという目標に向かって指示が無くとも自ら練習することが出来る。 イ. 課題を行うのに必要な知識を、文献、新聞等を使って自己学習することが出来る。
	働きかけ力	ア. わからないときに相談することができる。
	実行力	ア. 課題や作品を仕上げるための手順や方法を考えて確実に目標に向かって進めることが出来る。
考え抜く力	課題発見力	ア. 事実に基づいて情報を客観的に整理し、課題を見極めることが出来る。
	計画力	ア. 計画通りに進まないときは、計画を見直し修正出来る。
	創造力	ア. 物事を考える時に、固定概念にとらわれることなくいろいろな方向から考えることが出来る。
チームで働く力	発信力	ア. グループ内で文献を検索し知見をまとめ、聞き手に解りやすい発表の仕方(声の大きさ、スピード等)や話すポイントが整理され発表することが出来る。 イ. 発表の仕方を工夫して発表出来る。 ウ. 整理した内容を、的確な文章で表現出来る。
	傾聴力	ア. グループワークで、人の意見を確認し、さらに自分の意見を述べる事が出来る。
	柔軟性	ア. 自分と異なる価値観を尊重し、柔軟に受け入れることができる。
	状況把握力	ア. 自分ができることを考え、また周囲にどんな影響を及ぼすか考え、目標に向かって努力できる。
	規律性	ア. 無断欠席、遅刻、居眠り、私語など講義に支障をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることが出来る。
	ストレスコントロール力	ア. 失敗した時や落ち込んだり動揺することがあっても、次に進むことができる。

テキスト及び参考文献

テキスト: 使用しない。プリントを配布する。 ※「参考文献」は読むことが望ましい書籍の紹介です。講義では使用しません。
 参考文献 1: BRUTUS Casa (株式会社 マガジンハウス)
 参考文献 2: クロワッサン (株式会社 マガジンハウス)
 参考文献 3: モダンリビング (株式会社ハースト婦人画報社)
 ※作図の授業時には定規(三角スケールが望ましい)、シャープ(製図用シャープペンが望ましい)、消しゴム等を用意すること。
 (購入時期は講義内で説明してからで問題ありません。)

他科目との関連、資格との関連

他科目との関連: 「住生活論」「インテリアデザイン」「住宅計画」「住居管理論」、その他住関連科目全て。

学修上の助言	受講生とのルール
使用するプリントだけでは不足する部分もあります。新聞、TV ニュース等で社会問題等にも目を向けること。また、自主性を持って課題に取り組んで下さい。参考文献等は必読ではないが読むことが望ましい。また、予習、復習を行うこと。レポート等では事前準備が必要な課題もあります。常に情報収集に気を配りましょう。	事前準備が必要な課題、講義内で完成しなければならない課題、進み具合を確認しながらの課題もありますので、欠席は厳禁です。また、許可(ネット検索等)がない限り携帯電話は、カバンに入れておくこと。時間と提出期限は厳守して下さい。提出課題はすべて提出すること。

【評価方法】

評価方法	評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント
筆記試験		①	
		②	
		③	
		④	
		⑤	
小テスト	10	①	✓
		②	
		③	✓
		④	✓
		⑤	✓
レポート	40	①	✓
		②	
		③	✓
		④	✓
		⑤	✓
成果発表 (口頭・実技)	40	①	✓
		②	✓
		③	✓
		④	✓
		⑤	✓
作品		①	
		②	
		③	
		④	
		⑤	
社会人基礎力 (学修態度)	10	①	✓
		②	✓
		③	✓
		④	✓
		⑤	✓
その他		①	
		②	
		③	
		④	
		⑤	
総合評価 割合	100		

※小テスト以外のレポート、成果発表は、1週遅れは点数の1/2を減点し、2週以上遅れ、不参加等は全ての点数を減点する。

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)の基準
<ul style="list-style-type: none"> ・住文化の概要を理解し「<u>自分の言葉</u>」で説明することが出来るようになること。 ・作図実習では創造力を発揮し「<u>自分のアイデア</u>」、「<u>自分の表現方法</u>」で提案が出来ること。 ・現場実習では「<u>自らの考察</u>」で課題点を探し、「<u>自分の言葉</u>」、「<u>自分の表現方法</u>」で発表が出来ること。 ・社会問題と住文化を関連づけて考え、「<u>自分の言葉</u>」で説明が出来ること。 ・住文化の未来について、「<u>自らの考察</u>」で「<u>自分の言葉</u>」、「<u>自分の表現方法</u>」で提案することが出来ること。 <p>A(優)は、B(良)と比較し「<u>自分の言葉</u>」、「<u>自分のアイデア</u>」、「<u>自分の表現方法</u>」等で説明及び提案がなされていることが重要です。 その上で、さらに「<u>アイデア</u>」や「<u>表現方法(プレゼン)</u>」が卓越しているものには、S(秀)を付与します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・住文化の概要を理解し説明することが出来ること。 ・簡単な設計図書の作図を行うことが出来ること。 ・現代住宅の課題を考え、説明することが出来る。 ・社会問題と住文化を関連づけて考え、説明することが出来ること。 ・住文化の未来について考察し、提案することが出来ること。 <p>上記の内容を「理解していない。」、「考察していない。」、「提案がなされていない。」と判断した場合は、C(可)となります。</p>

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベル C(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1週 /	「ガイダンス」を行い、住宅実例の紹介を通じて「住文化」の概要を理解する。	講義 (プリントとパワーポイント使用する) ミニレポート①	『住文化』の概要を理解する。また、実例紹介を通じて、その理解を深めること。	予習: 参考文献を読むことが望ましい。 復習: 講義ノートを復習し自分なりに課題点を見つけること。	90	主体性 課題発見力 規律性
2週 /	「住文化の変遷について-1」 古代から戦前までの住文化の変遷を勉強します。	講義 (プリントとパワーポイントを使用する)	住文化の変遷を理解すること。古代から戦前までの住文化を理解する。	予習: レジメを読んで来ること。 復習: 講義ノートを復習し、住文化の流れを理解すること。	90	主体性 課題発見力 規律性
3週 /	「住文化の変遷について-2」 戦後の新たな住文化の流れを勉強します。	講義 (プリントとパワーポイントを使用する)	戦後の新たな住文化の流れを理解する。	予習: レジメを読んで来ること。 復習: 講義ノートを復習し、住文化の流れを理解すること。	90	主体性 課題発見力 規律性
4週 /	「都市について」 街並や景観について勉強します。	講義 (プリントとパワーポイントを使用する) レポート課題① 「私の好きな街並・景観」 小テスト①	街並・景観等について理解する。 レポート2週間後締切	予習: レポート課題①のために、街並・景観についての情報収集。 復習: 講義ノートを復習する。	90	主体性 課題発見力 発信力 規律性
5週 /	作図実習-1 小住宅の作図を勉強します。 成果発表①	図面の見方等、基本事項の説明と作図課題の説明を行います。(プリントとパワーポイントを使用する)ミニレポート②	図面の見方を理解すること。	予習: 作図課題の予習が必要です。 復習: プリント(図面の見方等)の復習。	90	創造力 実行力 計画力 傾聴力 柔軟性
6週 /	作図実習-2 小住宅の作図を勉強します。(主に平面図) 成果発表①	作図実習を行います。製図用品を持参すること。	作図について理解する。(主に平面図)	予習: 作図課題の予習が必要です。 復習: プリント(図面の見方等)の復習。	90	創造力 実行力 計画力
7週 /	作図実習-3 小住宅の作図を勉強します。(主に展開図) 成果発表①	作図実習を行います。製図用品を持参すること。	作図について理解する。(主に展開図)	予習: 作図課題の予習が必要です。 復習: プリント(図面の見方等)の復習。	90	創造力 実行力 計画力
8週 /	作図実習 A-4 小住宅の作図を勉強します。(主に展開図) 成果発表①	作図実習を行います。製図用品を持参すること。	作図について理解する。(主に展開図)	予習: 作図課題の予習が必要です。 復習: プリント(図面の見方等)の復習。	90	創造力 実行力 計画力

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベル C(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9週 /	作図実習 A-5 小住宅の作図を勉強します。 (主にプレゼンテーション) 成果発表①最終提出	作図実習を行います。 製図用品を持参すること。	作図について理解する。 (主にプレゼンテーション)	予習:作図課題の予習が必要です。 復習:プリント(図面の見方等)の復習。	90	創造力 実行力 計画力
10週 /	「現場実習」 岡崎市内の住宅を見学し、インテリアの実践を学び、良い点、問題点(課題発見)を考えます。	現場見学 岡崎市内の住宅の見学 現地集合解散。 ※土曜日実施	いろいろな住宅を見学し、比較し、課題や発見をする。	予習:見学会場の資料を調べる。 復習:現場見学時のノート、写真の復習。	90	主体性 課題発見力 規律性 状況把握力
11週 /	成果レポート作成 「現場実習」での課題と発見をレポート作成します。 成果発表②	A3 方眼紙に写真と「自分の言葉」で、「課題・発見」についてレポート作成します	いろいろな住宅を見学し、比較し、課題や発見をする。	予習:レポート作成に使用する資料の準備を行う。 復習:現場見学時のノート、写真の復習。	90	創造力 実行力 計画力 傾聴力 状況把握力
12週 /	「住文化の新たな流れ」 建築基準法における新たな住文化の流れ(品格法・耐震改修・省エネ法・バリアフリー法・景観法等)を勉強します。	講義 (プリントとパワーポイントを使用する)	住文化の新たな流れを理解すること。	予習:レジメを読むこと。 復習:講義ノートの復習。	90	主体性 課題発見力 規律性
13週 /	「住文化の新たな展開」 (コーポラティブハウス、コレクティブハウス、シェアハウス等)について勉強します。 東日本大震災以降の住文化の動向を勉強します。	講義 (プリントとパワーポイントを使用する)	コーポラティブハウス、コレクティブハウスシェアハウス、について理解すること。東日本大震災以降の住文化の動向について理解すること。	予習:レジメを読むこと。 復習:講義ノートの復習。	90	主体性 課題発見力 規律性
14週 /	「住文化の今後の展望について」 レポート課題②「未来に向けた『住文化』の在り方」の作成 (※筆記試験の代わり)	各自レポート課題の制作を行う。	住文化の今後の展望について考える。	予習:レポート課題②の準備。 復習:レポート課題の制作を行う。	90	主体性 課題発見力 創造力 実行力 計画力
15週 /	「住文化の今後の展望について」 レポート課題②「未来に向けた『住文化』の在り方」の作成 (※筆記試験の代わり)	各自レポート課題の制作を行う。 「現場実習」成果発表②を振り返る。	これまでの授業内容を振り返り、住文化の今後の展望について考える。	予習:レポート課題②の制作。 復習:授業で配布した資料などを見直し授業内容を振り返る。	90	主体性 課題発見力 創造力 実行力 計画力

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力

